

本時のねらい

○アレンジされた「かえるの歌」に、自分が考えた前奏をつけることで、創作の面白さ、楽しさに気づくことができる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 楽器が苦手な生徒、楽譜が読めない生徒でも簡単に創作活動を行うことができる。
- クラウド環境での創作になるので、他学年の生徒が作成したデータを教材として活用することができる。
- クラウド環境での創作になるので、自分が創作した曲をすぐに、全員と共有し、聴きあうことができる。

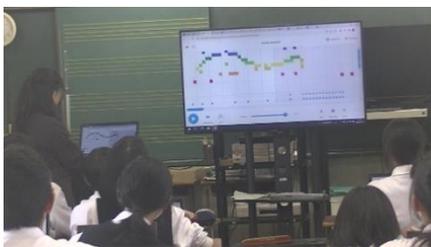
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ブラウザアプリ「Song Maker」 ・Googleclassroom ・Google フォーム ・Google スプレッドシート ・タブレット PC ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○5分間ミュージック ○オブラディ・オブラダを歌う。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分だけの「かえるの歌」をつくろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○他学年の生徒がアレンジした「かえるの歌」を5つ聴く。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・Song Maker はクラウド環境で創作できるアプリなので、他学年の生徒がアレンジした「かえるの歌」を活用して、そのアレンジに合った前奏を創作していく活動につなげられる。
展開 (32分)	<ul style="list-style-type: none"> ○5つのアレンジされた「かえるの歌」から自分が好きなものを1つ選び、前奏の創作を始める。 ○完成した前奏を Google Form で提出する。 ○共有された他者が創作した前奏データを聴き、自分が作成した前奏に修正を加える。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・Song Maker を使い、アレンジされた曲の前奏を考える。アレンジされた曲調に合うような前奏にすることを指示する。 ・完成した前奏を、Google Form を使って提出させ、クラス全員分の前奏データをスプレッドシート上で一覧にすることで、他者が創作した前奏をいつでも聴ける状態をつくることことができる。 ・スプレッドシートに上がっている前奏データを聴き、参考にすることで、自分の前奏を修正しやすくする。
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Google Form に修正を加えた前奏データを提出する。 ○創作された曲を共有する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Form で提出し、その結果をスプレッドシートに反映することで、他者が修正した前奏をすぐに聴き合うことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 アレンジされた「かえるの歌」を聞いているところ



【写真2】 「かえるの歌」の前奏を創作しているところ



【写真3】 Google フォームを入力しているところ

児童生徒の反応や変容

- ・楽器が苦手な生徒、楽譜が読めない生徒も創作を楽しむことができるアプリを活用することで、前向きに創作することができたため、とても積極的な姿が見られた。
- ・作成した前奏をすぐに共有することができるため、それぞれの作品に対して、「〇〇さんの作品の表現がすごい！！」などの感想を持つことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・クラウド環境で創作活動ができる「Song Maker」を活用することで、他学年が作成したデータを活用できる。また、作成した前奏はすぐに共有することができるので、それを参考にしながら、さらに修正を加えられるというメリットもある。